

葉かび病に抵抗性のある大玉トマトの品種比較

福島県農業総合センター 浜地域研究所
平成17年度農業試験場試験成績概要
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - トマト - 品種
分類コード 03-04-01000000

2 担当者

中山秀貴

3 要旨

有機栽培をはじめとする安全に配慮した栽培では、病害抵抗性品種を用いた農薬使用の軽減が期待されている。そこで、トマトの葉かび病抵抗性品種であるサカタのタネ「麗容」、タキイ種苗「桃太郎なつみ」について、夏秋作型での生育、収量、病害発生程度について検討した。

- (1) 麗容(抵抗性遺伝子:公表無し)、桃太郎なつみ(同:Cf-9)とも、葉かび病罹病はみられなかった。他の病害については、灰色かび病、うどんこ病、疫病の発生がみられたが、発生程度は軽微であり、また、県内主要品種である桃太郎8とほぼ同等であった。
- (2) 全般に、桃太郎なつみは吸肥力が強く生育が旺盛な印象があり、夏秋トマトでの標準的な基肥窒素量(10kg/10a)では、草勢が強くなりやすいと考えられた。
- (3) 桃太郎8に比べ、麗容の茎径、節間長に大きな差はみられなかった。一方、桃太郎なつみは茎径が20%程太く、節間長も10%程短かった。
- (4) 収穫総個数は麗容が約48個/株で、桃太郎8(約44個/株)をやや上回った。桃太郎なつみは花落ちが多く、約38個/株とやや少なかった。
- (5) 今回の試験での麗容の全収量、可販果収量は、それぞれ14.2t/10a、9.4t/10aで桃太郎8と同等であった。桃太郎なつみの全収量、可販果収量はそれぞれ9.3t/10a、6.5t/10aとやや少なかった。
- (6) 平均可販果重は、麗容は桃太郎8と同程度であった。桃太郎なつみはやや少なかった。

4 その他の資料等

なし